SPODフォーラム

2009. 9. 9.

DP,CP,APの開発と一貫性の構築

愛媛大学教育・学生支援機構　教育企画室長

小　林　直　人

Naoto KOBAYASHI

1

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

発　表　内　容

Ⅰ. DP・CP・APの策定と一貫性構築の意義

Ⅱ. DPの策定

Ⅲ. CPの策定

Ⅳ. APの見直し

Ⅴ. カリキュラム・マップの作成

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

Ⅰ．DP・CP・APの策定と一貫性構築の意義

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

3

1．愛媛大学のFD

- **求められる「三つの方針」**

  2008年12月に出された中央教育審議会答申では、国際通用性を備えた学士課程教育の構築のために「明確な『三つの方針』に貫かれた教学経営」を求めている。つまり、大学の個性・特色は「各機関ごとの学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針」（ディプロマ・ポリシー：DP、カリキュラム・ポリシー：CP、アドミッション・ポリシー：APに対応）に反映されるものとし、この三つの方針の共通理解の下に教職員が日常の実践に携わり、PDCAサイクルを確立することが重要としている。

  また、大学評価・学位授与機構の機関別認証評価において使用されている大学評価基準（平成20年度実施分）でも、同様の方針の策定と公表が求められている。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

4

1. 愛媛大学のFD

- **カリキュラム（再）開発の困難さ**

政策答申や大学評価基準を待つまでもなく、大学関係者であれば誰しも、日本の大学のカリキュラムがいかに体系性を欠いたものであるかを知っているだろう。しかしながら授業と異なり、カリキュラムは組織と連動するものであり、その改革は容易ではない。しかも新規のカリキュラム開発ではなく、現存するカリキュラムの再開発となれば、困難の度合いは増す。

- **カリキュラム**

ある科目が存在するということは、そこに人が介在しているということである。科目と科目の共同体であるカリキュラムは、人と人との共同体でもある。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

5

1. 愛媛大学のFD

愛媛大学におけるFDの定義

「教育・学習効果を最大限に高めることを目指した
① 授業・教授法の改善（ミクロ・レベル）
② カリキュラムの改善（ミドル・レベル）
③ 組織の整備・改革（マクロ・レベル） への組織的な取組」

（愛媛大学教育・学生支援会議決定 2007）

・ 本セミナーの目的
学士課程の体系化の取組はミドル・レベルのFDである。本取組を政策や認証評価への対応としてだけではなく、教員がカリキュラム（再）開発手法を学ぶFDの機会として位置づけ、それを効果的に実施する手法を紹介したい。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

6

2. 教育コーディネーター研修

・ 教育コーディネーター研修会

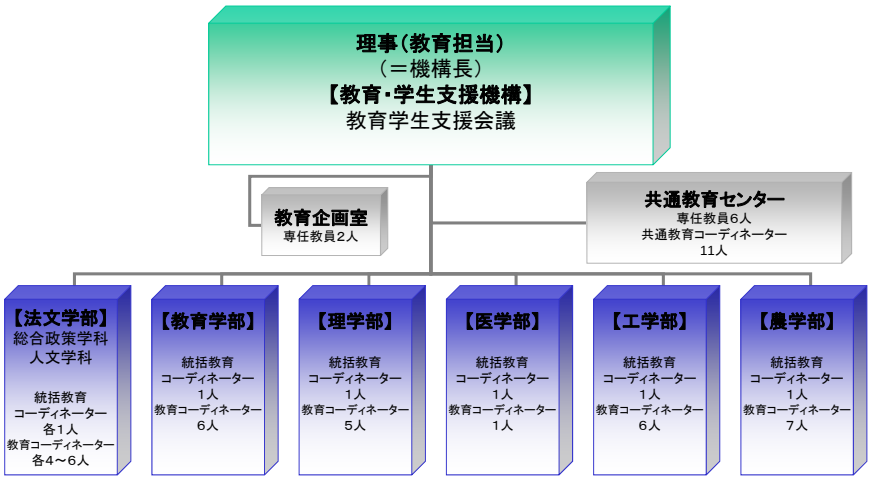
2006年度は「単位の実質化とカリキュラムの体系化」をテーマに1回、2007年度は「学士課程の体系化～DP・CP・APの策定と一貫性構築～」をテーマに教育コーディネーター研修会（全5回。6月、8月、10月、11月、1月実施。2008年度は「学士課程の体系化～カリキュラム・マップとティーチング・ポートフォリオ開発」をテーマに、8月、11月、1月実施。2009年度は「学士課程の体系化～カリキュラム・アセスメントと単位制度の実質化」をテーマに、5月、7月、11月、1月実施予定。主催教育企画室。

・ 教育コーディネーターとは？

2006年度に誕生した、学部・学科の教育責任者として教育方針の立案、カリキュラムの編成、教育内容・教授法の改善、教育効果の検証などを担う「教育重点型教員」である。学科や教育コースごとに最低一人が配置され、現在65人（2009.6）がその任に当たっている。当該学部長の推薦に基づき、役員会の承認を経て、学長が任命。1期2年、2期を原則としている。研修会においても、学部・学科の方針の策定、全学の方針とのすり合わせを行っている。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

2. 教育コーディネーター研修



EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

2. 教育コーディネーター研修

◆2007年度第1回教育コーディネーター研修（6月7日）13：30～16：00

・ 講演「これからの学士課程教育に求められるもの」（小松学長）

・ 説明「本研修の目的と今後の課題について」（柳澤教育・学生支援機構長）

・ 事例発表「教育コースの再編と特別コースの新設」（法文学部総合政策学科 湯浅教授、人文学科 清水教授、農学部 泉学部長）

・ 総合討論

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

9

2. 教育コーディネーター研修

◆2007年度第2回教育コーディネーター研修（8月6日）13：30～17：00

・ 外部有識者による事例紹介 「観点別教育目標から考えるカリキュラム・ポリシーの構造」（沖 立命館大学教授）

・ ワークショップ「DPの策定シミュレーション」（教育企画室）

・ 課題提示「DPの策定について」（柳澤教育・学生支援機構長）

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

10

2. 教育コーディネーター研修

◆2007年度第3回教育コーディネーター研修（10月4日）13：30～16：40

・ 説明「全学のディプロマ・ポリシー（DP）（案）について」（柳澤教育・学生支援機構長）

・ 報告「DP作成進捗状況について」（各学部統括教育コーディネーター等）

・ ワークショップ「カリキュラム・チェックリストの作成シミュレーション」（教育企画室）

・ 課題提示「カリキュラム・チェックリストの作成について」（柳澤教育・学生支援機構長）

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

11

2. 教育コーディネーター研修

◆2007年度第4回教育コーディネーター研修（11月8日）13：30～16：45

・ 報告（DP作成）（各学部統括教育コーディネーター等）

・ 検討「カリキュラム・チェックリスト作成に係る問題点、疑問点について」（教育企画室）

・ 課題提示「APの見直しについて」（柳澤教育・学生支援機構長）

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

12

2. 教育コーディネーター研修

◆2007年度第5回教育コーディネーター研修（20年1月31日）13：30～17：00

・ 学長挨拶（小松学長）

・ 各学部等最終報告（DP、CCL、AP）（各学部等担当者）

・ 各学部へ検討課題の提案（DPに合致しない授業科目の検討、カリキュラム・マップの作成など次年度の課題）（柳澤教育・学生支援機構長）

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

13

II. DPの策定

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

14

1. 教育企画室からの依頼

DPの定義

- 中央教育審議会の定義 ※1
  - 卒業認定・学位授与に関する基本的な方針
- 山口大学
  GP（グラデュエーション・ポリシー）の定義 ※2
  - 「大学が教育活動の成果(Educational Outcomes)として学生に保証する最低限の基本的な資質(Minimum Requirement)」を箇条書きで記述したもの。

※1 我が国の高等教育の将来像（答申）2005年1月
※2 沖裕貴・田中均 2006 「山口大学におけるグラデュエーション・ポリシーとアドミッション・ポリシー策定の基本的な考え方について」 大学教育3、39-55.

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

15

1. 教育企画室からの依頼

①DPを5領域に設定することを求める
他大学（山口大学、立命館大学）の先行事例を参考に 、各学部・学科等の卒業時の到達目標を「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心」「態度」「技能・表現」の5領域に整理して文言化することを求めた。

②全学DPの提示
各学部のDPが大学としての統一を欠くものにならないように、学部での作業前に全学DPを提示。全学DPはキーワードを羅列する形式で設定され、学部のDPを縛りすぎない程度のものとした。

③DP作成ワークショップ
教育コーディネーターが各学部で作業しやすいように、研修会では学部DPを作成するワークショップを実施し、出来上がったDPに対して学部間でフィードバックを行った。実際の学部でのDP設定作業には3～5ヶ月の日数を要した。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

16

1. 教育企画室からの依頼

DPの策定上の留意点

- 具体的に、達成したことを挙証できる目標を記述すること
- 抽象的な言葉を用いず、行動目標で記述すること
- 教育目標分類学に従って、観点別に行動目標を記述すること
- 多くの学生の現実の進路（就職先）や将来像を意識して記述すること
- 学生を主語に、「〇〇できる」という形式
- 原則として、一つの文章に一つの動詞を使う
- 条件（制約・制限）、基準（数字は有効）を示すとよい。

※参考　沖裕貴・田中均　2006「山口大学におけるグラデュエーション・ポリシーとアドミッション・ポリシー策定の基本的な考え方について」 大学教育3、39-55.

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

17

1. 教育企画室からの依頼

- 各学部・学科等の卒業時の到達目標を、以下の5つの領域に整理して文章化する。
  - 知識・理解
  - 思考・判断
  - 関心・意欲
  - 態度
  - 技能・表現

認知的領域 { 達成目標 / 向上目標 }

情意的領域の達成・向上目標

精神運動的領域の達成目標

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

18

到達目標に使う具体的な動詞（1）

■知識領域
列記する／列挙する／述べる／具体的に述べる
説明する／分類する／比較する
例を挙げる／類別する／関係づける
解釈する／予測する／選択する／同定する
弁別する／推論する／公式化する
一般化する／使用する／応用する
適用する／演繹する／結論する／批判する
評価する

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

19

到達目標に使う具体的な動詞（2）

■技能領域
感じる／始める／模倣する／熟練する
工夫する／実施する／行う／創造する
操作する／動かす／手術する／触れる
触診する／調べる／準備する／測定する

■態度領域
行う／尋ねる／助ける／コミュニケートする
寄与する／協調する／示す／見せる
表現する／始める／相互にやりとりする
系統立てる／参加する／反応する／答える
配慮する

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

20

1. 教育企画室からの依頼

平成19年9月19日　教育・学生支援会議

全学のディプロマ・ポリシー（DP）（案）

全学のDPが、各学部等のDP作成における方向性の提示となることも意識しつつ、複数のキーワードを包括した形の文章として示す。

＜自ら必要な知識や技術を学んでいく力＞

・社会の中で一人の人間として生き、自らの個性や適性に相応して自らの役割を果たしていくために必要な教養、知識と能力を身につける。

（キーワード）

個の確立、自主学習意欲、継続力（関心・意欲、態度）、専門的知識、専門的技術、情報収集力（知識・理解、技能）

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

21

1. 教育企画室からの依頼

＜議論し、企画をまとめ、提案する力＞

・自らのもつ知識や技術を活用しながら他者と議論し、企画をまとめあげ、提案を行うことができる。

（キーワード）

課題発見・解決力、応用展開力、総合的思考力、科学的思考力（思考・判断）、論理的表現力、語学力、リーダーシップ力、コミュニケーション力（技能・表現）

＜協働し、実践していく力＞

・立案した企画について、目的達成を目指し、家庭・地域・社会における協働を通じ、実践していくことができる。

（キーワード）

実践的行動力、〇〇への貢献、使命感、責任感（態度）、協調性、リーダーシップ力、コミュニケーション力（技能・表現）

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

22

2. 学部・学科等でのDP策定作業の実際

法文学部のDP

（知識・理解）
1. 社会科学または人文科学の包括的な知識を習得している。

（思考・判断）
2. 社会科学または人文科学の特定の学問領域において的確な考察及び判断ができる。

（関心・意欲）
3. 社会科学または人文科学の知を地域における実践力へと高めることができる。

（態度）
4. 生きた文化や社会の担い手としての自覚を持ち、責任を果たすことができる。

（技能・表現）
5. 社会で活躍できる的確なコミュニケーション能力を身につけている。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

2. 学部・学科等でのDP策定作業の実際

人文学科のDP

（知識・理解）
1. 豊かな人間性と社会性を支える広い教養をみにつけている。
2. 人文諸学の学問内容及び方法を理解している。

（思考・判断）
3. 自ら設定した課題について，人間文化・地域文化・歴史文化・言語文化のいずれかの学問領域の研究方法を用いて，考察することができる。

（関心・意欲）
4. 人文学の知を実践の力へと高めることができる。
5. 社会における自分の役割を自覚することができる。

（態度）
6. 人文学の知をもって地域社会のニーズに応えることができる。
7. 生きた文化や生きた社会を創ることに寄与できる。

（技能・表現）
8. 他者の声に耳を傾け，自分の考えを口頭表現や文章表現によって的確に伝えることができる。

24

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

Ⅲ．カリキュラム・ポリシー（CP）の策定

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

25

1．教育企画室からの依頼

- CP（カリキュラム・ポリシー）
  - それ自体が文章化されるものではなく、DPと整合性のある教育カリキュラムが構築されることで達成されていると判断されるもの。
- CCL（カリキュラム・チェックリスト）
  - 現在の学科等のDPとその教育カリキュラムに存在する各授業の到達目標との整合性を確認し、CPが達成できているかを判断するためのツール。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

26

2. 学部・学科等でのCP策定作業の実際

法文学部人文学科のCCL

○○学科(課程)○○コースのカリキュラム

授業科目名	授業の目的(簡条書) (この授業科目における中心となる題目・問題・テーマ等を箇条書に記入)	授業の到達目標(簡条書) (この授業科目の学習に到達すべき最低限の(行動)目標を学生が主語で行為動詞を使用して箇条書に記入)	○○学科(課程)のディプロマ・ポリシー(DP) (◎=DP達成のために、特に重要な事項、○=DP達成のために、重要な事項、△=DP達成のために、望ましい事項) 1(知識・理解) 1. 人文諸学の学問的背景及び方法を理解している。	2(思考・判断) 2. 自己認識・人間観について、人間文化・地域文化・歴史文化・言語文化のいずれかの学問領域の研究方法を用いて、考察することができる。	3(関心・意欲) 3. 人文学の知を実践的に力へと高めることができる。 4. 社会における自分の役割を自覚することができる。	4(態度) 5. 人文学の知をもって地域社会及び国際社会のニーズに応えることができる。 6. 生きた文化が生きた社会を創ることに寄与できる。	5(技能・表現) 7. 他者に果に事を構ず、自分の考えを口頭表現や文章表現によって的確に伝えることができる。
思想文化論	20~19世紀にイギリスにおいて展開された哲学思想(いわゆるイギリス経験論哲学)を取り上げ、それぞれの哲学思想を考察することによって、哲学史的知識を修得すると同時に、哲学的思考の特質について理解することを目的とする。	(1)イギリス経験論哲学の特質を理解する。 (2)哲学的概念の意味を理解する。 (3)哲学的思考に習熟する。	1 ◎ 2 ◎ 3 ◎	1 ○ 2 ○ 3 ◎		3 △	
哲学概論	哲学において伝統的に取り扱われてきた諸概念・諸問題を考察することを通して、哲学という学を理解し、哲学的に思索する態度を身につけることを目的とする。	(1)哲学的概念の意味を理解する。 (2)哲学的なものの見方を身につける。 (3)哲学的思考に習熟する。	1 ◎ 2 ◎ 3 ◎	1 ○ 2 ○ 3 ◎		3 △	
倫理思想史概論	西洋倫理思想を、古代ギリシア時代から、中世、ルネッサンス期、近代市民社会を経て、今日のサウンロジーの時代にいたるまで、その変遷を概観しながら、代表的な西洋倫理思想の特徴について学ぶ。	(1)西洋の倫理思想の特徴を把握する。 (2)倫理学の基礎概念を理解する。 (3)倫理的な問題意識を涵養する。	1 ○ 2 ◎ 3 ○	1 ◎ 2 ○ 3 ○	1 ○ 3 ◎	3 △	
人間存在論	人間存在論という立場がどのような観点から人間を考察するかを検討し、諸科学とは異なる、その学問的方法としての意味を明らかにする。それによって、人間存在を歴史的社会的中に投げ込まれて生きる存在として捉え、その中で人間存在としての自己がいかにして形成されるかを解明する。	(1)哲学としての人間存在論と諸科学特に自然科学の探究のあり方の相違を理解することができる。 (2)諸科学の立場を哲学的視点から分析、評価し、その問題点を指摘することができる。 (3)人間としての自己の存在と、他の学問や事物との関係を明確に、それを的確に表現することができる。	1 ◎ 2 ○ 3 ◎	1 ○ 2 ○ 3 ◎	3 △	3 △	
芸術論	20世紀以降の美術や音楽の諸傾向について知る。芸術について論じるうえで欠かせない問題について検討をおこなう。	新しい芸術のありかたについて、自分のこれまでの趣味を踏まえて、論じることができる。	◎	○	△	△	◎
実験心理学	ヒトは常に様々の刺激情報を外界から受け取り、それを適切に処理して、行動として対応している。適切に対処するための仕組みがどの様なものであるか、行動主義の立場から、あるいは認知心理学の立場から学び、ヒトやヒト以外の動物を対象にした実験事実を紹介しながら、難解の主観的な言葉を用いないでヒトの行動を理解するのが目的である。	(1)実験心理学は日常の「心理学」とは全く違うことを説明できる。 (2)行動の基礎としてのココロの仕組みを説明できる。	(1)○ (2)◎	(1)○ (2)◎	(1)○ (2)○	(1)△ (2)◎	(1)△ (2)○

27

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

1. 教育企画室からの依頼

①カリキュラムチェックリスト(CCL)の作成を求める

CPは、文章化すると大量になるので、DPと整合性のあるカリキュラムを図示することで対応。この作業にはCCLを使用。CCLは、「列」に学科等のDPで設定された到達目標を、「行」に当該学科等で開講されている授業科目の到達目標を配置したものであり、両者がクロスするセルで整合性を確認できる。各授業科目の到達目標が学部DPに強く貢献している場合は◎がつき、全く貢献していない場合は空欄となる。

②CCL作成シミュレーション

学部で実際に開講されている科目を使ってシミュレーションを実施(PC使用)。

③学部でのCCL作成支援

学部でのCCL入力作業には、全教員の関与が求められるが、実際は、到達目標が適切に記述されていないシラバスが多く、チェックが困難な学部もあった。よって教員に対するシラバスの書き方に関するFD講習会を教育企画室に依頼した学部が3学部あった(全6学部中)。

28

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

英語圏で一般的なシラバスにおける目標の表現

After taking this chapter, you should be able to :

- Explain the difference between communication and communications
- Discuss the strengths and weakness of various communication models
- Explain why communication breaks down and why it succeeds

Baden Eunson 2006 *Communicating in the 21st century*, Johon Wiley & Sons Australia, Ltd. p.1

29

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇学部
〇〇〇〇〇〇 殿

共通教育センター長

シラバスの修正について（依頼）

共通教育の授業担当について、ご協力をいただきありがとうございます。さて、学生にとってよりわかりやすいシラバスを作成するため、共通教育のシラバスに関し、共通教育センターにてシラバスの点検作業を行っております。その結果、貴殿の下記授業科目のシラバスについて、該当の事項に関して加筆・修正をお願いすることとなりました。シラバスはよりよい授業への第一歩となる文書です。よろしくご協力をお願いいたします。

記

授業科目名［ 〇〇〇〇〇 ］
□ （主題科目のみ）授業題目を記入してください。
□ 授業題目・キーワードに英語表記をお願いします。
□ 授業の内容を、15回の授業内容がわかるように記入をお願いします。
進度によって内容が変わる場合は、何回かに分けてご記入いただくか、「下記の内容を15回の授業の間に行います」という記述をお願いします。なお、学期制によりもともと15回ない授業に関してはこの限りではありません。
□ 学則では出席は成績評価の項目とされていないことにご留意ください。
□ オフィスアワー（必ず研究室におられる時間帯）の記入をお願いします。
なお、オフィスアワーは後で変更することが可能です。
■ その他
・「授業の目的・到達目標」は、学生が受講の結果として到達できる水準を述べてあることが必要です。学生が、「自分にもできそう」と思えるような分かりやすい表現で述べてください。 目標に沿った行為動詞を用いてください。

詳細な内容に関する問い合わせ先
共通教育センター

30

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

到達目標の策定上の留意点

- 具体的に、達成したことを挙証できる目標を記述すること
- 抽象的な言葉を用いず、行動目標で記述すること
- 教育目標分類学に従って、観点別に行動目標を記述すること
- ディプロマ・ポリシーを意識して記述すること
- 学生を主語に、「〇〇できる」という形式
- 原則として、一つの文章に一つの動詞を使う
- 条件（制約・制限）、基準（数字は有効）を示すとよい。

※参考　沖裕貴・田中均　2006「山口大学におけるグラデュエーション・ポリシーとアドミッション・ポリシー策定の基本的な考え方について」 大学教育3、39-55.

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

31

2. 学部・学科等でのCP策定作業の実際

法文学部人文学科のCCL

〇〇学科（課程）〇〇コースのカリキュラム

〇〇学科（課程）のディプロマ・ポリシー（DP）

（◎＝DP達成のために、特に重要な事項、〇＝DP達成のために、重要な事項、△＝DP達成のために、望ましい事項）

授業科目名	授業の目的（簡条書） （この授業科目における中心となる題目・問題・テーマ等を簡条書で記入）	授業の到達目標（簡条書） （この授業科目の学習後に到達すべき最低限の（行動）目標を学生が主語でわかりやすい表現で簡条書に記入）	（知識・理解） 1. 人文諸学の学問的内容及び方法を理解している。	（思考・判断） 2. 自ら設定した課題について、人間文化・地域文化・歴史文化・言語文化のいずれかの学問領域の研究方法を用いて、考察することができる。	（関心・意欲） 3. 人文学の知を実践のかたちと高めることができる。 4. 社会における自分の役割を自覚することができる。	（態度） 5. 人文学の知をもって地域社会及び国際社会のニーズに応えることができる。 6. 生きた文化や生きた社会を創ることに寄与できる。	（技能・表現） 7. 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭表現や文章表現によって的確に伝えることができる。
思想文化論	17～18世紀にイギリスにおいて展開された哲学思想（いわゆるイギリス経験論哲学）を取り上げ、それぞれの哲学思想を考察することによって、哲学史的位置を明確すると同時に、哲学的思索の特質について理解することを目的とする。	（1）イギリス経験論哲学の特質を理解する。 （2）哲学的概念の意味を理解する。 （3）哲学的思索に習熟する。	1 ◎ 2 ◎ 3 ◎	1 〇 2 〇 3 ◎		3 △	
哲学概論	哲学において伝統的に取り扱われてきた諸概念・諸問題を考察することを通して、哲学という学を解し、哲学的に思索する態度を身につけることを目的とする。	（1）哲学的概念の意味を理解する。 （2）哲学的なものの見方を身につける。 （3）哲学的思索に習熟する。	1 ◎ 2 ◎ 3 ◎	1 〇 2 〇 3 ◎		3 △	
倫理思想史概論	西洋倫理思想を、古代ギリシア時代から、中世、ルネッサンス期、近代市民社会を経て、今日のサウンドの時代にいたるまで、その変遷を概観しながら、代表的な西洋倫理思想の特徴について学ぶ。	（1）西洋の倫理思想の特徴を把握する。 （2）倫理学の基礎概念を理解する。 （3）倫理的な問題意識を触起する。	1 〇 2 ◎ 3 〇	1 ◎ 2 〇 3 〇	1 〇 3 ◎	3 △	
人間存在論	人間存在論という立場からどのような観点から人間を考察するかを検討し、諸科学とは異なる、その学問的方法などの意味を明かにする。それによって、人間存在を歴史的社会の中に投入されて生きる存在として捉え、その中で人間存在としての自己がいかにして形成されるかを解明する。	（1）哲学としての人間存在論と諸科学特に自然科学との研究のあり方の相違を理解することができる。 （2）諸科学の立場を哲学的視点から分析、評価し、その問題点を指摘することができる。 （3）人間としての自己の存在と、自ら学ぶべき学問との関係を明確に、それを的確に表現することができる。	1 ◎ 2 〇 3 ◎	1 〇 2 〇 3 ◎	3 △	3 △	
芸術論	20世紀以降の美術や音楽の諸傾向について知る。芸術について論じるうえで欠かせない問題について検討をおこなう。	新しい芸術のありかたについて、自分のこれまでの趣味を超えて、論じることができる。	◎	〇	△	△	◎
実験心理学	ヒトは常に様々な刺激情報を外界から受け取り、それを適切に処理して、行動として対応している。通常に対処するための仕組みがどの様なものであるか、行動主義の立場から、あるいは認知心理学の立場から学ぶ。ヒトやヒト以外の動物を対象にした実験事実を紹介しながら、感覚等の基礎的な産業を用いないでヒトの行動を理解するのが目的である。	（1）実験心理学は日常の「心理学」とは全く違うことを説明できる。 （2）行動の基盤としてのココロの仕組みを説明できる。	（1）〇 （2）◎	（1）〇 （2）◎	（1）〇 （2）〇	（1）△ （2）◎	（1）△ （2）〇

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

32

2. 学部・学科等でのCP策定作業の実際

- シラバスの書き方に対する反省を構成員に促すことができた。
- シラバスの目的と目標の設定の仕方が、明確になった。
- シラバスの内容をDPの項目に即したものとなるように改訂した。
- 教育の成果を挙証する仕組みが理解された。
- 各自のシラバスの目標がDPのどれに該当するものか、◎〇△を記入するにあたってレベル判断に迷うものがあった。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

33

2. 学部・学科等でのCP策定作業の実際

- CCL作成にあたって、上欄に並べられたDPの各項目にマークしていく場合、いずれかの科目がマークされていれば、CPとしてはDPをカバーすると考えてよいのか。
- いずれかの科目といっても、その場合は必修科目でなければならないのでは？

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

34

Ⅳ．アドミッション・ポリシー（AP）の見直し

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

35

某大学スポーツ学科様のAP

1．スポーツ指導・健康づくり指導の理論や実践に関する素養を有する者
2．外国語運用も含む他者とのコミュニケーション能力に関する素養を有する者
3．積極的にボランティア活動を実践し、社会に貢献する意欲がある者
4．スポーツ指導者・健康づくり指導者になるために自ら学ぼうとする意欲を持つ者
5．他者との協調性、他者に対する寛容性を培う意欲を有する者
6．スポーツ学部の教育理念・目標、ならびに人材養成方針に賛同し、学習する意欲を強く有する者

36

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

某大学工学部様のAP

1．モノづくりが好きな人
2．何故だろうと疑問を持つ人
3．何とかしてやろうという意欲のある人

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

37

1．教育企画室からの依頼

①学部APのチェック
教育企画室が既に作成・公表されている学部のAPをチェックしたところ、①DPの内容と混在している、またDPを超えた内容となっている、②入学試験の内容と対応していない、③「関心・意欲」「態度」の観点に偏りすぎている、といった課題が明らかになった。

②学部AP見直しを求める

③APチェックリストの提供
DP、CPを踏まえた上で、上記3点について留意してAPを見直すように依頼した。その際、APと入試制度が対応できているかをチェックするリストも作成し、提供した。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

38

2. 学部・学科等でのAP策定作業の実際

人文学科のAP

（知識・理解）

1. 高等学校で学習する国語、外国語、地理、歴史、公民、数学、理科などについて、高等学校卒業相当の知識を有している。

（思考・判断）

2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（関心・意欲・態度）

3. 言語・文化・文学・歴史・人間、思想、地域、社会などに興味関心を持ち、身につけた知識を地域社会及び国際社会に役立てたいと考えている。

（技能・表現）

4. 所与の問題について、自分の考えを日本語でわかりやすく表現できる。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

39

2. 学部・学科等でのAP策定作業の実際

農学部アドミッション・ポリシー　チェック・リスト（案）　　農学部教育コーディネーター会議　平成20年　1月28日

		前期日程		後期日程		推薦ⅠA		推薦ⅠB		AO（地域マネジメント）	推薦Ⅱ		AO（水産）
		センター	教科	センター	面接	小論文	面接	小論文	面接		センター	面接	
（知識・理解）	1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。	◎	○	◎		○	△	○	△		◎		△
	2. 次のいずれかに該当する。												
	A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な課題を解くことができる。	○	◎	○		△					○		
	B. 農業・生物資源または工業、商業などに関する基礎的専門知識・技術を有している。								○	△			△
（思考・判断）	ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる		△		○	△	△	△	△	○		○	○
（技能・表現）	自分の考えを、日本語で他者からもわかりやすく文章表現ができる。		△		○	△	△	△	△	○		○	○
（関心・意欲、態度）	地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいと考えている。				○		◎		◎	◎		○	◎

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

40

課　　題

①どの教育組織単位でDPの設定を行うか？

同じ「学部」という名称を使用していても、学部によってその位置づけが異なる。例えば一学科しか持たない農学部と独立性の強い複数学科を抱える工学部では、「学部」の意味するものが違う。実質的なDPを設定できる組織はどこなのかを関係者は認知しておかねばならない。

②到達目標の表現方法をどうするか？

今回は5領域に分類したが、3領域という選択肢もある。教職員が分類しやすく、学生にも理解しやすい分類方法を採用しなければならない。

③到達目標に対する評価をどの程度まで厳密に行うか？

DPやAPにあまりにも多くの到達目標を設定すると、それらを評価する手間がかかる。しかしながら、評価可能なものだけを記述するとDPやAPで大学の個性・特色を表現するのは困難になる。両者のバランスをとるのが難しいが、DPやAPは一般的なものに、個性・特色はCPで表現するというのが妥当であろう。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

41

Ⅴ．カリキュラム・マップの作成

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

42

1. カリキュラム・マップの開発

（1）カリキュラム・マップとは？

- カリキュラムにおける授業科目間の系統性・関係性を図示化したフローチャートやダイアグラムのこと。
- 図示化は、情緒面、注意面、教示面、支援面、記憶面で学習者の内容理解を高める（関2007）
- コンセプト・マップ（概念地図法）と呼ばれている学習指導法（岸2000）をカリキュラムに応用したもの。コンセプト・マップは、初等・中等教育において、学習者の知識状態の確認をするために使用されており、高等教育においては、工学分野を中心にカリキュラムを表現する手法として使われている（佐藤1996）。またシラバスを図示化する手法として使われている例もある（グリゲナら2004、Nilson2007）。
- FD教材としてのメリット：電子メディアでも紙媒体でも表現できる、一枚で全体を俯瞰できる、背景の異なる複数メンバーでの共有がしやすい、記憶に残りやすい。
- FD教材としてのデメリット：CCLと併用しなければ、厳密な体系性・関連性を理解することができない。

43

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

1. カリキュラム・マップの開発

（2）2008年度教育コーディネーター研修会のテーマ

「カリキュラムの体系化と授業改善
～ カリキュラムマップの作成とティーチング・ポートフォリオ開発 ～」

◆第1回研修（6月5日）13：30～16：00
・ 説明「今年度のテーマと研修会の進め方について」（教育・学生支援機構長）
・ ワークショップ「カリキュラムマップの作成シミュレーション」（教育企画室）
◆第2回研修（8月6日）15：00～17：30
・ 課題提示「カリキュラムマップの作成について」（教育・学生支援機構長）
◆第3回研修（11月10日）13：30～16：00
・ 報告「カリキュラムマップの作成進捗状況」（各学部統括教育コーディネーター）
◆第4回研修（翌年1月29日）13：30～17：00
・ 学長挨拶
・ 各学部等最終報告「カリキュラムマップの作成」（各学部統括教育コーディネーター）

※カリキュラム・マップ作成に関係しない議題は割愛

44

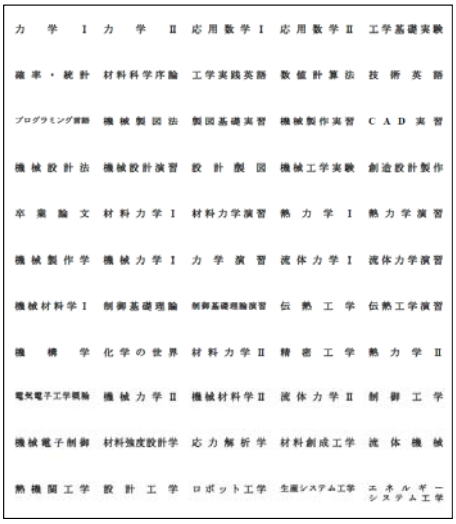
EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

1. カリキュラム・マップの開発

（3）研修の流れ

①カリキュラム・マップの説明と作成シミュレーション（6月）

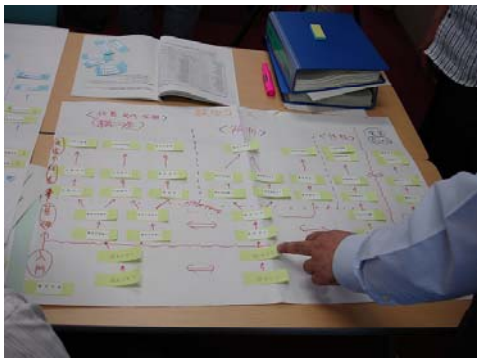
・ カリキュラム・マップの先行事例紹介。学問分野による多様性を尊重することを強調。
・ 学部・学科に分かれて、作成シミュレーションのグループワーク。
・ 授業科目シールを配布し付箋に張り付けて、模造紙上に時間軸で並べ手書きで関係図示。
・ ポスター発表による相互批評



授業科目シール

45

1. カリキュラム・マップの開発



理学部数学コース

法文学部総合政策学科

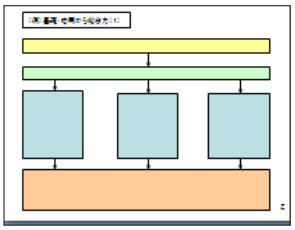
学問分野の多様性を表現する多様な簡易マップの完成

46

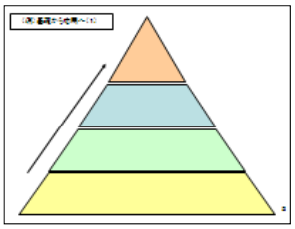
1. カリキュラム・マップの開発

②各学部・学科でカリキュラム・マップ作成（６月～１月）
簡易マップを基に議論

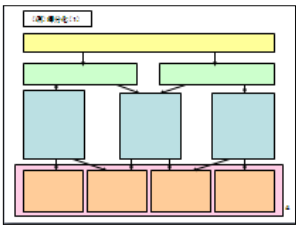
③研修会でカリキュラム・マップのモデルパターンの提示（11月）



基礎・応用から総合力



基礎から応用へ



細分化

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

1. カリキュラム・マップの開発

④研修会にて作成進捗状況の報告とコメント付与（11月）

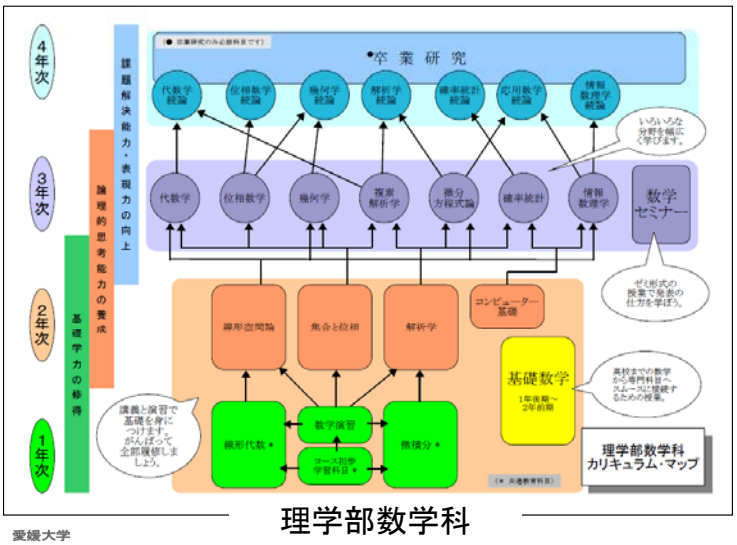
「全体の構造や流れがわかりやすいか」
「一目で授業科目同士の関係がわかるか」
「興味深く見てもらえ、記憶に留まりやすいか」
「学生にとって、自らの学習内容の把握に役立つか」
上記視点から教育企画室がコメントし、意見交換

コメント例【法文学部総合政策学科司法コース】
1）全体としてはB案のほうが理解しやすいまとまった案となっています。コア科目を中央に配置することでその重要性が強調されています。
2）両案とも科目同士の関連は不明確です。何か工夫がほしいところです。例えば、基礎法科目群と刑事法科目群など、科目群同士の関連性を示したり、基礎→応用→発展についても何らかの工夫でその連続性を示すことができればよりわかりやすいと思います。また、B案コア科目の下の必修科目の位置づけが明確ではありません。
3）B案では、学習が拡散していくような印象を受けます。年次が進行するにつれて、学習内容が統合・総合していくイメージの方が学習効果は高まるように思います。

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

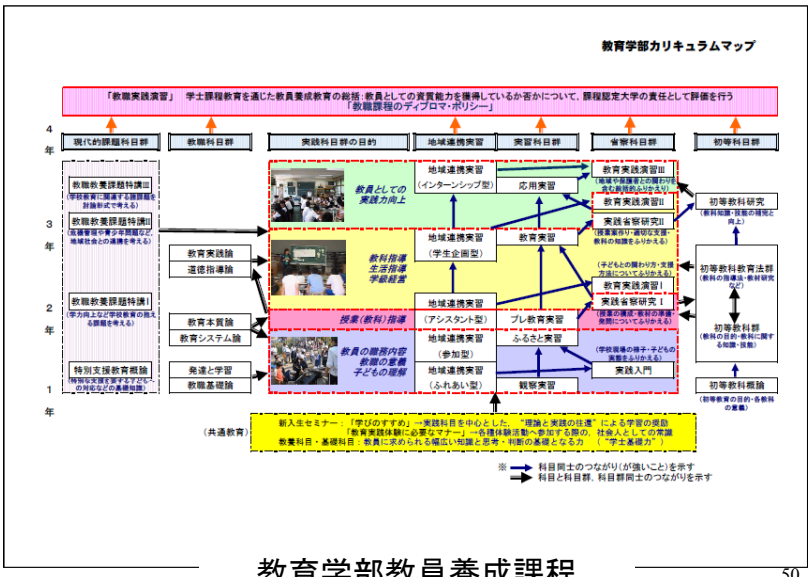
2. カリキュラム・マップの実際

⑤研修会において最終発表（1月）



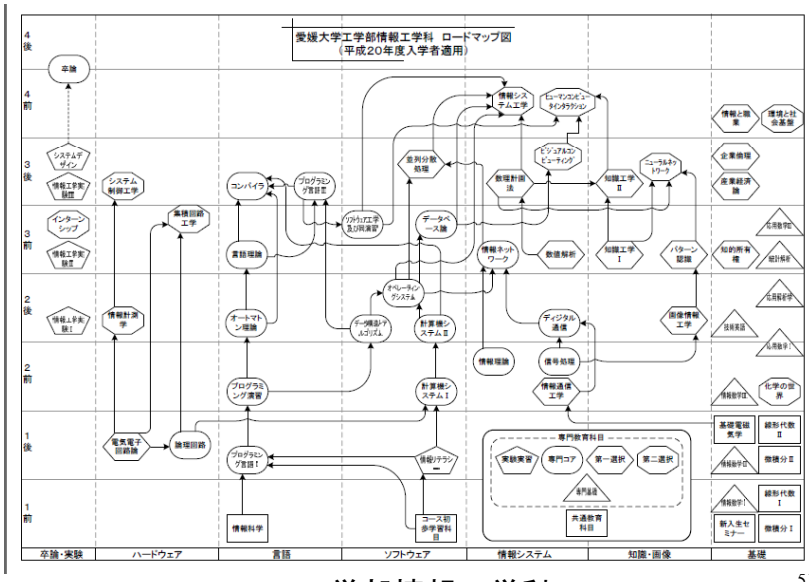
理学部数学科

2. カリキュラム・マップの実際



教育学部教員養成課程

2. カリキュラム・マップの実際

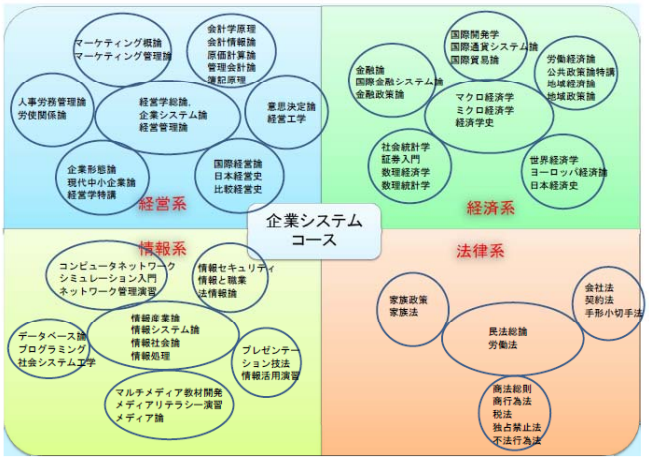


EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

工学部情報工学科

51

2. カリキュラム・マップの実際



法文学部総合政策学科企業システムコース

52

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

まとめ・課題・今後の予定

（1）まとめ

- 教育コーディネーターを対象とする、年間4回の研修を通して、約8ヶ月で全学科・コースのカリキュラム・マップの作成を完了した。翌年度以降、ホームページで公開を依頼。
- モデル提示、シミュレーション、学科・コースでの作業、中間報告・コメント付与と意見交換、最終報告という手順での研修が成功した。
- 教育コーディネーターがカリキュラムについて学ぶ良い機会となった。「初めて自分の学部でこれだけの科目が開講されていることを知った」（参加者）

（2）課題

①学問分野毎の体系化の差異をどう考えるか？
理・工学部のマップについては直線型、その他のマップについては螺旋型・同心円型が多かったけれども、それは学問分野による差異なのか、体系化の程度の差異なのか。体系化されていないカリキュラムをマップとして表現することは困難。

53

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

まとめ・課題・今後の予定

（2）課題（続き）

②マップの効果的な表現方法をどうやって抽出していくか？
学問分野によって、マップの表現方法は多様であるとしても、閲覧者、とりわけ学習者にとって理解しやすい表現方法はある。効果的なマップの雛型を抽出していく必要あり。

③FD教材としてのマップの有効性はあるか？
教員が集団として取り組むことで、教員の言動や組織にどのような変化が生じたのか。

④学生に対してマップをどう活用していくか？
学生に対して、どの時期に、どのような媒体で提示すると、学習に効果的なのかについて検証必要。学習成果の検証等において有効に活用できないか。

（3）今後の予定

- 翌年度の教育コーディネーター研修のテーマ（年4回開催予定）
「学士課程教育の体系化～カリキュラム・アセスメントと単位制度の実質化」
- これにより教育課程のPDCAサイクルはCheck段階に入り、現状分析から再開発のステージに進む。

54

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

おわりに

ご清聴ありがとうございました。
ご質問・ご意見は下記までお願いします。

naoto@m.ehime-u.ac.jp

EHIME UNIVERSITY 愛媛大学

55